

令和5年度第2回 士別市地域公共交通活性化協議会 てん末

日時：令和5年9月25日 10:00～10:35

場所：士別市議会議場

1. 開 会 司会：事務局 士別市企画課 増田課長

2. 挨拶 法邑会長

3. 報告事項 説明：事務局 士別市企画課 竹下主任

(1) 路線バス「中多寄スクール線」の時間変更について【資料1】

<加茂委員>

15分バス停停車による公安（警察署）への確認は行っているか。

<事務局>

停車について法律上問題のないことは確認しているが、公安については未確認のため、協議会終了後確認を行う。

⇒公安に確認。手続等必要なく問題なしとのこと。

(2) 「習い事応援タクシー」の実施状況について【資料4】

<佐藤元信委員>

朝日地区など料金が高い地区からはバス利用との連携が必要になっている。その他事業を持続していくためにも、様々な分野と連携を図っていきたい。

また、本事業を知らないという方もいらっしゃるようなので、今後周知・PRをしっかりと行っていただきたい。

(1)(2)について原案のとおり了承

4. 協議事項 説明：事務局 士別市企画課 竹下主任

(1) 路線バス「朝日線」の一部デマンド化について【資料2】

<事務局>

この部分について次世代モビリティ推進会議でも議題としたが、具体的なデータに基づき協議会で図ることとなった。

令和5年度から主な利用者である翔雲高校生の利用が大幅に減っており、令和4年度で月延べ30人程度から、令和5年度で月延べ10人程度まで減っている。学生で利用する可能性がある朝日・上士別地区の生徒は4名いるが、利用実態としては1人乗るか乗らないかという日が続いている。

最終便については減便ではなく、学生等の利用者がまだいるため必要に応じたデマンド化として提案したので、ご議論いただきたい。

<大内部長>

朝日線については1,000万円を超える赤字となっており、空車実績も多くなっているためこのような提案となっている。ご理解いただきたい。

<鳥毛委員>

先ほどの中多寄スクール線の件もあるが、翔雲高校生の路線バス利用についてご議論いただき感謝申し上げます。生徒への周知等について高校としても協力できるのでご相談いただきたい。

(1) について原案のとおり了承

(2) 路線バス「わくわく買い物線」の運行期間の短縮・減便について【資料3】

<事務局>

次世代モビリティ推進会議が主体となって議論し「わくわく買い物線」が創設された背景がある。先日行われた次世代モビリティ推進会議において議論した結果、運行期間の短縮・減便はやむなしだが、バス停ごとの乗降データを分析し本当に買い物に利用されているのか、ルート自体が適切なのか検証をしていきたいとなった。今年度乗降調査を行い推進会議で検証していくが、まずはバス事業所の経営状況から期間の短縮・減便についてご理解いただきたい。

(2) について原案のとおり了承

5. その他

<藤森委員>

朝日線の一部デマンドについて先ほど了承されたが、運行変更まで1ヶ月程度しかなく、予約が必要なことから住民への周知が必要と考える。事務局として周知方法をどのようにするか教えてほしい。

また予約は前日までだが、具体的な受付時間も必要かと思う。

<事務局>

市としてはフェイスブックやホームページで周知を考えているほか、土別軌道と連携し新聞広告等で周知していく予定である。

<大内委員>

受付時間については18:00までとする（後に事務局で確認し、8:30～18:00とすることとなった）

6. 閉 会